

財務状況の全般的説明

1. 平成29年度の財務状況

高野山学園における平成29年度の財務状況において、ここ数年の本学の課題の一つであった学生・生徒数確保について大学部門の社会人編入生・留学生が増加したため、学生生徒等納付金収入は前年度と比べ644万円増加している（当初予算より85万円減少）。

18歳以下人口が減少する中で学生・生徒の確保は困難な時代であり、改めて本学が社会に果たす使命、また受験生のニーズを見直し、戦略をもって学生・生徒数の増加に努めていく必要がある。さらに学園の各種特定資産についても、安全性を損なわない商品で少しでも高い利率での運用ができないか、金融機関を巻き込んだ上での検討が必要である。

(1) 資金収支計算書

①資金収支計算書の概要

資金収支計算書について

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に関するすべての収支の内容、および支払資金の顛末を明示する計算書類である。

②平成29年度の財務状況

■補助金収入の減少

文部科学省・財務省の方針により、平成29年度から定員割れの私立大学に対し補助金支給額の削減が行われたため、予算より2,071万円の減少となった（学生数の増加などから前年より801万円増加）。平成28年採択の私立大学ブランディング事業に対する補助金なども一律削減対象となり、計画の見直し及び外部資金獲得に向けた取り組みが急務である。

(2) 事業活動収支計算書

①事業活動収支計算書の概要

■事業活動収支計算書について

事業活動収支計算書は、当該会計年度における事業活動収入と事業活動支出を対比し、収支の均衡状態と内容を明確にする、企業会計における損益計算書に当たるものである。その意味では、単年度の収支（赤字/黒字）をうかがう上での指標となる計算書である。

②平成29年度の財務状況

■事業活動収支の動向

平成29年度決算では、前年度決算と比して事業活動収入は5,739万円の減少、一方事業活動支出は12,027万円の増加となっている。収入の減少については、勸学財団解散による寄付金の減少、大学拡充特定預金の定期解約に伴う受取利息の減少がある。支出の増加については、社会人・留学生に対する奨学金支給による奨学費の増加、高等学校宿舎の大規模修繕に伴う修繕費の増加、図書棚卸しに伴う図書資産の除却の実施によるものである。各部署により経費投入の見極めを行う体制が進む一方で、校舎・宿舎の老朽化や寒冷地であること、また耐震対応を行う必要性などから修繕費・光水熱費の負担が重くなりつつある。学生生徒数の増加はもちろんのこと、外部資金や運用による資金の増加についても改革に努める。

(3) 活動区分資金収支計算書

■活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、企業会計でいえば損益計算書に当たる。資金収支計算書の決算額を三つの活動区分（教育活動／施設整備など活動／その他の活動）に分けて表しており、活動毎の資金の流れを明らかにするものである。

(4) 貸借対照表

①貸借対照表の概要

■貸借対照表について

貸借対照表は、年度末の財政状態を、資産・負債・正味財産（基本金、繰越収支差額）で表す。貸借対照表では、当年度末と前年度末での資産等の変動を対比している。

②平成29年度の財務状況

■資産の減少

平成29年度末では、特定資産が3,781万円減少している。この減少は、大学拡充整備引当特定資産及び高校福祉保健引当特定資産の取崩の影響によるものであり、サテライトキャンパスの移動経費を經常運用資金で賄ったため、特定資産を取り崩し流動資産の確保を図った。

■負債の増加

平成29年度末では固定負債が6,632万円増加している。この増加は、高等学校による宿舎立替のための長期借入によるものである（借入先は高野山金剛峯寺）。